

作成年月日：2021年5月10日（Ver.1.0）

久留米大学では、受診時に患者さんから取得された診療情報等を使用して下記の研究を行っています。本研究で使用される診療情報等は他機関への提供は行いません。

なお、下記研究は久留米大学の倫理委員会にて「社会的に重要性が高い研究」等の特段の理由が認められ、研究機関長の承認を得て実施しています。当該診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化处理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡下さい。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は担当者にご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。

【研究課題名】小児における橈骨動脈径と体格との関連についての検討

【診療情報の対象者（研究対象者）】

- 1) 受診期間：西暦2019年3月から西暦2020年9月までの間
- 2) 受診科：久留米大学病院小児科
- 3) 対象疾患名：循環器疾患

【診療情報等の項目】

診療情報等：超音波画像所見（橈骨動脈の血管径）

臨床情報（身長、体重、年齢、性別、診断名、病歴、既往歴、血液検査データ等）

【研究目的】

成人でカテーテル検査の穿刺部位として一般的に選択される「橈骨動脈」という血管に関して、小児では血管正常径の報告が少なく、実際に穿刺部位の血管の大きさが体格によってどのように変化するのは明らかになっていません。小児のカテーテル検査において、より最適な穿刺部位を選択したり、穿刺合併症を軽減するために、橈骨動脈径と体格との関連性を明確にすることは重要です。

本研究では、上記の診療情報を使用して、小児における橈骨動脈径と体格との関連について解明することを目的としています。

【研究（利用）期間】久留米大学倫理委員会承認後から西暦2023年9月まで

【利益相反に関する事項】

本研究は特定企業からの資金援助はないため利益相反は発生しません。

【問い合わせ先】

研究責任者（使用する情報の管理責任者）：久留米大学医学部小児科学講座 助教 前田 靖人

問い合わせ担当者：久留米大学医学部小児科学講座 前田 靖人

電話：0942-31-7565

E-mail: maeda\_yasuto@med.kurume-u.ac.jp

研究番号 21069